

<図書館資料展示>

地図で辿る立教

～立教大学図書館所蔵地図資料より～

2024年、立教学院は創立150周年を迎えました。立教のルーツである私塾（のちの「立教学校」）は、1874年2月チャニング・ムーア・ウィリアムズ主教により、東京・築地の開市場内に開設されました。その後、立教の校地（キャンパス）は、築地内での移転等を経て、1918年池袋（北豊島郡）へ校地を移します。1960年新座市の校地に立教高校が移転すると、1990年以降は立教大学の校舎や学部も増設されました。

今回の展示では、立教大学図書館が所蔵する地図資料から、立教の校地の変遷が垣間見える地図を時代別に取り上げます。現在までの立教の歩みとともに、その時々々の地図上の地名や地形も変わり続けていきます。明治期以降の近代化の歴史に思いを馳せながら、立教150年の歴史の一端に触れてみたいと思います。

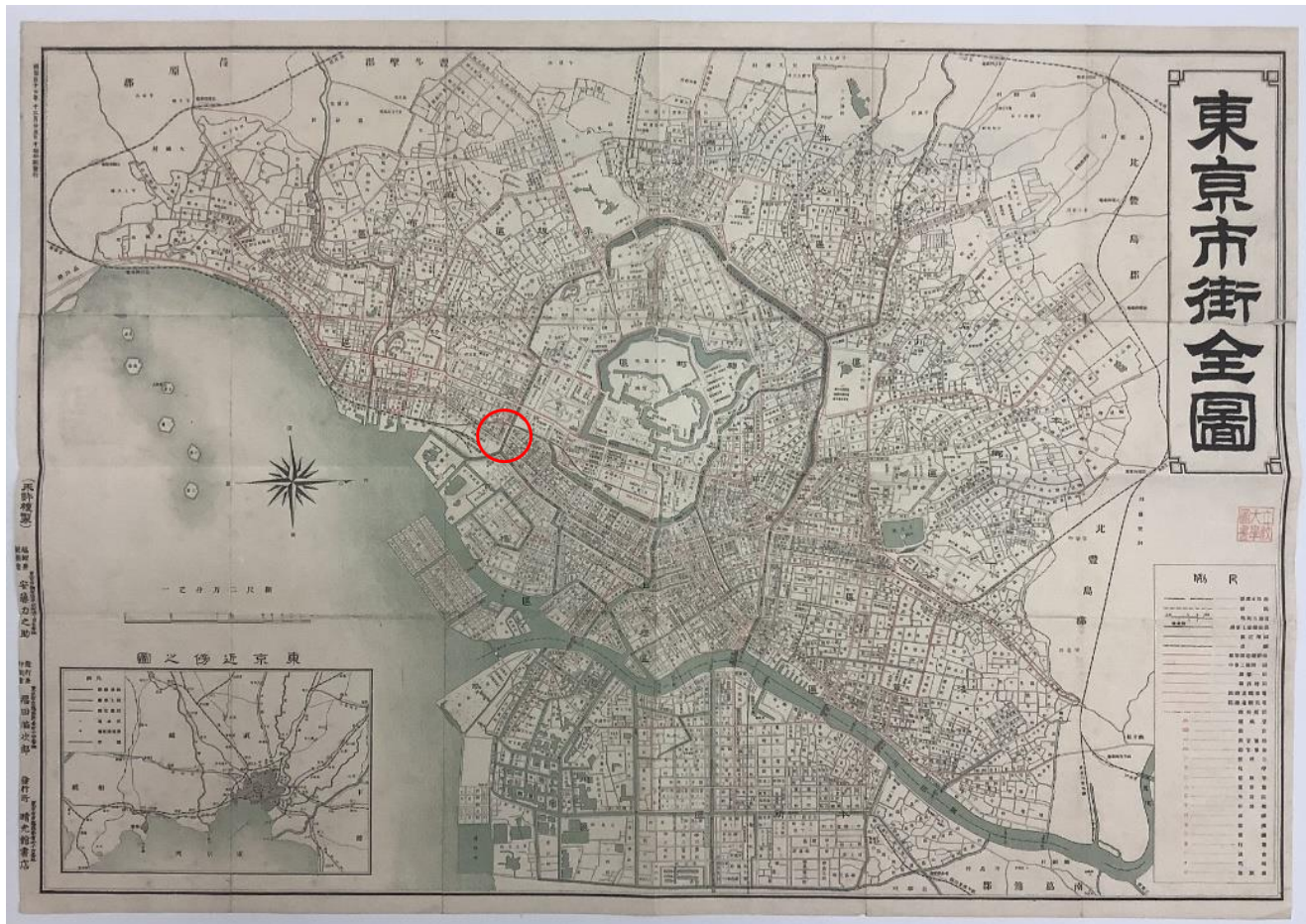
立教大学図書館デジタル・ライブラリー「[地図にみる立教](#)」では、明治から昭和（戦前）、昭和（戦後）の古地図を公開しています。今回の展示とあわせてご鑑賞ください。

2024年10月 立教大学図書館

①【東京市街全圖, 安藤力之助編輯兼製圖, 晴光館書店, 1904, 資料番号: 53012038】

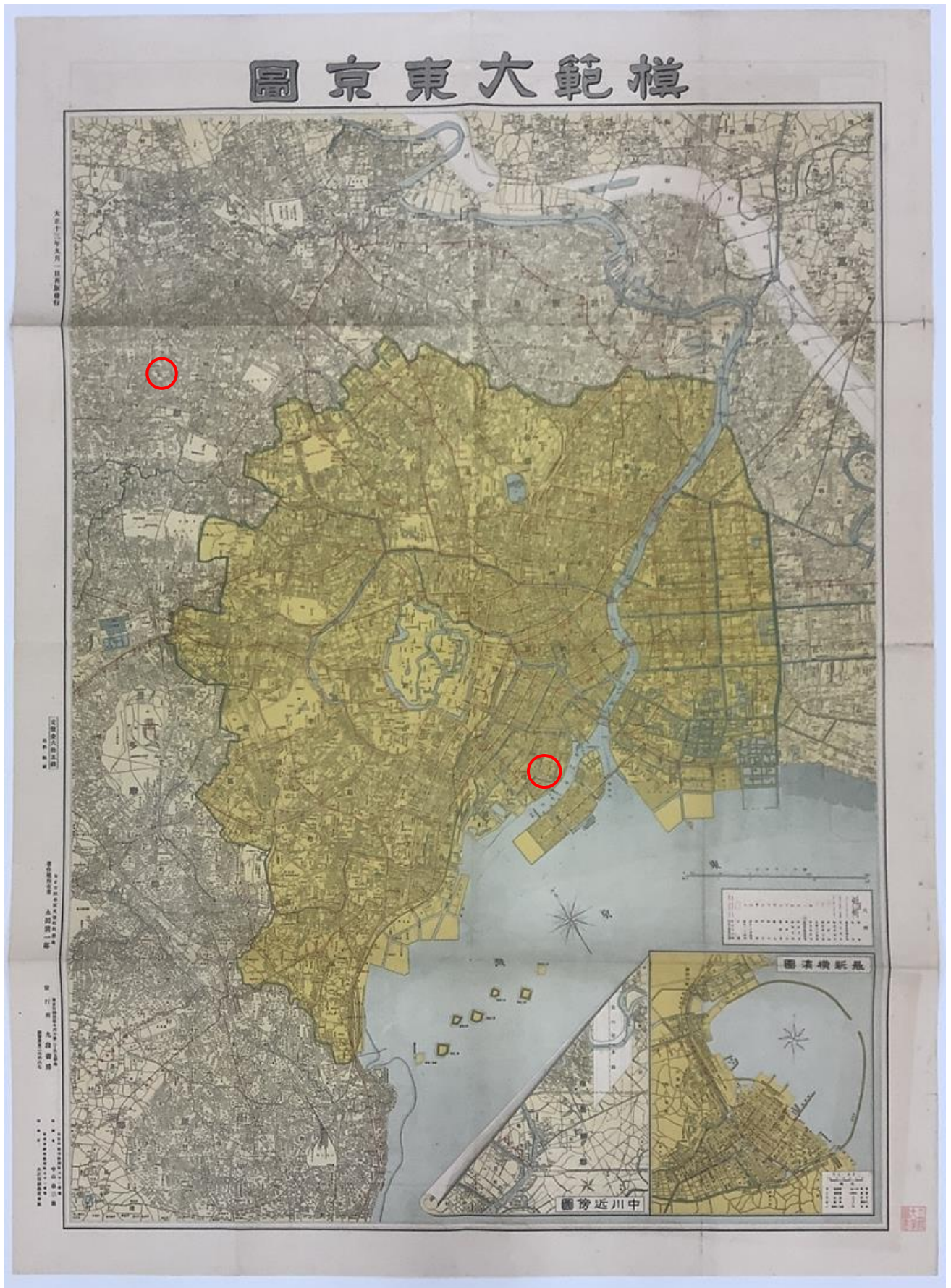
この地図の発行は1874(明治7年)にウィリアムズ主教により、築地の外国人居留地に私塾が開校されてから30年後に当たる。

明石町の一角に「立教中学」の表記が見られるが、その3年後の1907年に、専門学校令による「私立立教学院立教大学」が認可される。



②【模範大東京圖,「詳細番地入：市郡接續：東京附近番地入」], 九段書房, 1924.9,
資料番号：53012039

今より丁度 100 年前に発行された地図。池袋へは 1918 年に築地から移転となったが、築地の明石町に「立教大学」、池袋には「立教大学敷地」の表記が見られる。



③【東京都区分詳細圖，「東京都区分図豊島区詳細図」】，日本地図株式会社，1960，

資料番号：53005515

今年(2024年)はパリにおいてオリンピックが開催されたが、1964年開催の東京オリンピック直前の頃、64年前の地図となる。

現在の池袋キャンパスの地に立教大学、立教高、立教中、立教小と、かつての野球部が活動していた東長崎球場の表記が見られる。



④【東京都練馬区・保谷市、埼玉県新座市・和光市・朝霞市周辺】，「明治前期測量2万分1 フランス

式彩色地図：第一軍管地方二万分一迅速測圖原圖覆刻版；東京3」，日本地図センター，

1996.10，資料番号：53007700

新座キャンパスは、1960年に立教高校（後に立教新座中学・高等学校）が移転され、1990年に大学のキャンパスが開設された。展示の1904(大正3)年の地図(複製版)には、当然ながら、まだ立教の表示は無い。

玉琦縣新國產大和田町修村

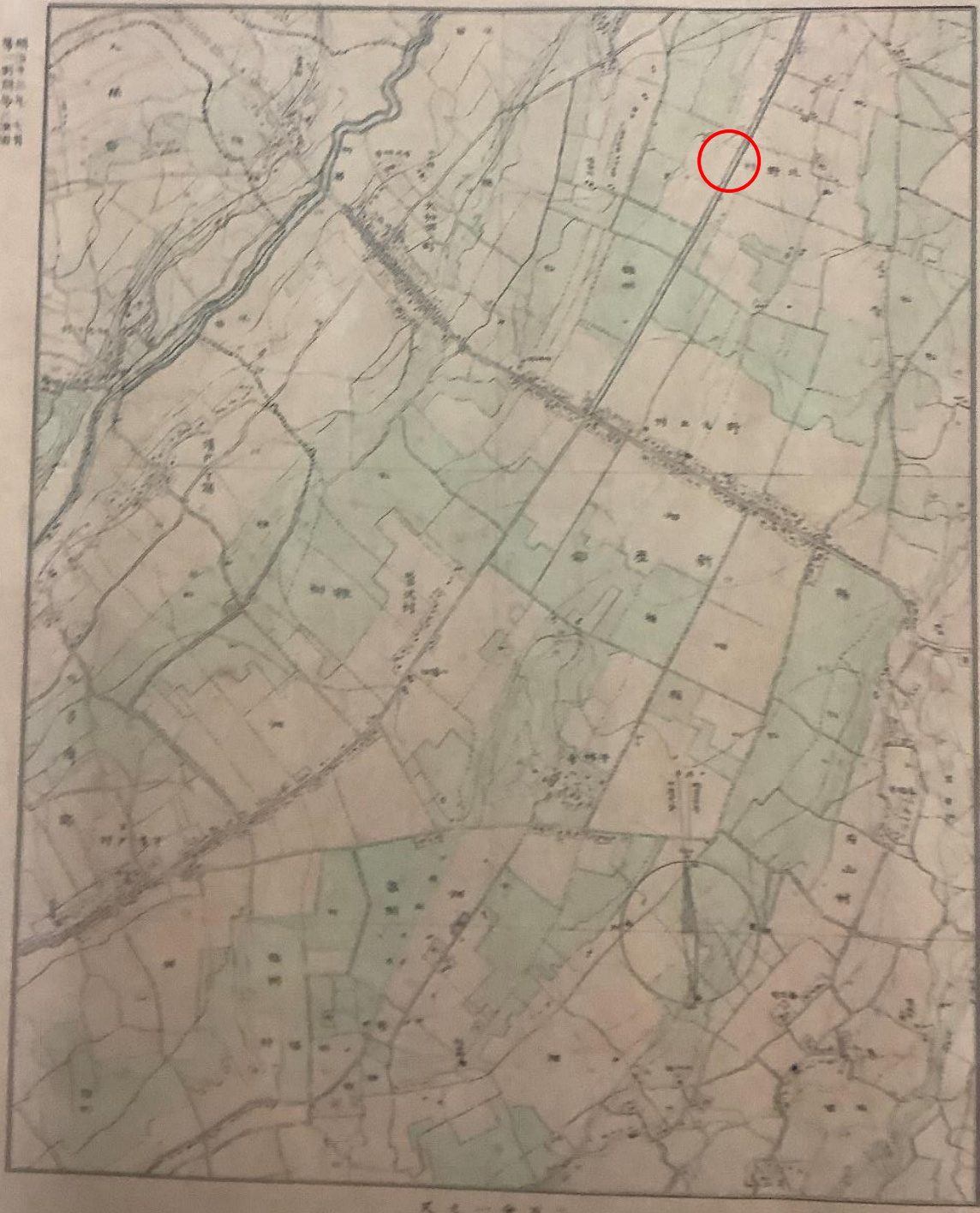
玉琦縣新國產大和田町修村



玉琦縣新國產大和田町修村

玉琦縣新國產大和田町修村

玉琦縣新國產大和田町修村



玉琦縣新國產大和田町修村

玉琦縣新國產大和田町修村